

『黒人自由闘争』のアメリカ史』と 『福祉権運動のアメリカ』を読む



かつて公民権運動の歴史と呼ばれた長い過程について、歴史研究の刷新が進んでいる。藤永康政『黒人自由闘争』のアメリカ史 公民権運動とブラック・パワーの相剋』（2024 年）と土屋和代『福祉権運動のアメリカ ブラック・ラディカリズムとフェミニズム』（2025 年）の二冊をめぐるクロス書評を手がかりに、研究の frontline について議論を深めたい。両著者と日本近現代民衆史の佐々木啓氏から報告をいただく。



報告

藤永 康政

日本女子大学文学部教授。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。山口大学人文学部准教授、ミシガン大学アフリカン・アフロアメリカン研究所客員研究員を経て、2018 年から現職。アフリカ系アメリカ人の歴史、公民権運動／ブラック・パワー運動を研究。主な著書に『黒人自由闘争』のアメリカ史 公民権運動とブラック・パワーの相剋』（岩波書店、2024 年）などがある。

土屋 和代

東京大学大学院総合文化研究科教授。カリフォルニア大学サンディエゴ校歴史学研究科博士課程修了（Ph. D.）。専攻はアメリカ現代史、人種・エスニシティ研究、ジェンダー研究。著書に *Reinventing Citizenship: Black Los Angeles, Korean Kawasaki, and Community Participation* (University of Minnesota Press, 2014)、『福祉権運動のアメリカ ブラック・ラディカリズムとフェミニズム』（岩波書店、2025 年）、『「民衆」のロスアンジェルスレイシズムに抗う文化と知』（有志舎、2026 年）などがある。

佐々木 啓

東洋大学文学部教授。早稲田大学大学院文学研究科史学（日本史）専攻、博士課程退学。同大学博士（文学）号取得。茨城大学人文社会科学部教授を経て、2025 年から現職。専門は日本近現代史。主な著書に『「産業戦士」の時代：戦時期日本の労働力動員と支配秩序』（大月書店、2019 年）などがある。

司会／松原 宏之（立教大学文学部教授・アメリカ研究所副所長）

2026 年 7 月 18 日（土）15:00 ～ 17:30

立教大学 池袋キャンパス 11 号館 A303 教室

事前登録制（先着 30 名）

お申し込みはこちら

